



消防団広報

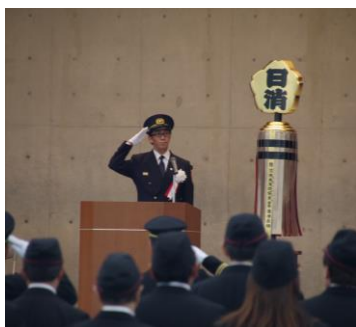


安全・安心の絆

平成三十五年一月十二日
消防団、消防署職員、自衛
消防隊参加による出初式が長
島輪中ドームにて行われまし
た。

桑名市長を観閲者に、分別
入場行進から始まり、団員の
表彰に続いて市長、消防長、
来賓の方々から言葉をいただ
きました。アトラクションと
して、マリア・モンテッソー
リ幼稚園、津田桑名幼稚園の
園児による演奏が行われ、消
防団長の答辞で式典を終えま
した。

その後、長良川左岸に移動
し、ポンプ車による一斉放水
が行われました。



第千八百号 二〇一三年三月
編集・発行
桑名市大字江場七番地
桑名市消防団 企画情報部会

年頭のご挨拶

消防団長 柴田 清勝



平素は消防団活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。消防団を代表して厚く御礼申し上げます。東日本大震災から二年となります。しかしその傷跡はいまだ癒えず、被災された方々には改めてお見舞い申し上げますと共に、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。震災ではあまりにも多くの尊い命が失われました。震災で犠牲となった方々に報いるためにもあの震災を風化させることなく、得られた教訓を今後の災害対策に生かさなくてはなりません。

私たち消防団員は市民の

「安全・安心」の為、日々防災活動にあたっています。火災に対する消火活動、台風接近時の市内の警戒活動などその内容は多岐にわたります。また災害時だけではなく平常時においても、地域における防災訓練での応急手当の普及活動や、消防ポンプなどの資機材の点検も行っています。そう遠くない将来に東海・東南海・南海地震の発生が予想されています。その時に備え、なお一層の消防技術の練磨に励み、皆様から頼りにされる消防団を目指して精進してまいります。「自分たちの地域は自分たちで守る」という思いを持ち、皆で災害に強い街桑名市を築いていきましょう。

年末警戒

十二月二十八日～三十日

年末で忙しくなり寒さも一段と厳しくなる頃、今年も特別警戒を実施しました。市民の安全・安心を願う良い年を迎えられるよう取り組んでいます。夜八時から翌朝五時まで地域巡回・詰所待機を各分団にて行いました。

市長巡視

二十八日には、市内六箇所にて市長による巡視が行われ、警戒に当たる団員に感謝のお言葉を頂きました。



出初式にて

団長より感謝状

昨年三月末にて退団された、元桑名方面団長 小川 勝昭様に、感謝状が贈られました。



文化財防火デー

平成二十五年一月十六日

貴重な文化財を、火災などの災害から守り、後世に残していくことを目的に放水訓練が、六華苑にて行われました。火災発生から、通報・避難誘導・初期消火・消防本部消防団による放水等を行い、女性消防団による消火器の取り扱い訓練も行われました。地域内にある小学校や保育園の子供達も見学に訪れました。



各方面団の訓練

長島方面団

中継放水訓練 十月二十八日
小雨の中、長島防災コミュニティセンター、長島町西川地区、姫御前地区、白鷄地区の町内四箇所において中継放水訓練が実施されました。

訓練は、火災現場において正確で迅速かつ安全な行動を行うために必要な技術の向上、団員および分団相互の連携を目的としています。

一地区二三分団で構成され、水利である防火水槽から想定された火点まで中継送水を行いながらホースを延長し、一定時間放水した後、指揮者の指示により終了という内容で行われました。

訓練は無事終了しましたが、「訓練に対する緊張感の欠落」、「指揮者の指示不足による動作の困惑」、「機材の取り扱い方」などが反省点としてあげられました。

今後は、これらの反省を活かし、消防団としての技術を蓄積していくとともに、市民の生命、身体、財産を災害か

ら守るという使命に基づき消防団活動・各種訓練に取り組んで参ります。

訓練後に予定されていた各分団の親睦を図るソフトボール大会は、残念ながら雨のため中止となりましたが、今後各種訓練、親睦行事を通して長島方面団の団結力をよりいっそう高めていきたいと思っています。

多度方面団

消防競練会 十一月十一日
多度町総合支所駐車場において、秋季訓練が行われました。

この訓練は、火災現場で正確かつ迅速な活動を行うために必要な消防技術の基本である消防ポンプ車による揚水、ホースの延長及び放水完了までのタイムと消防器具操作・動作の正確性等を競うことで、消防技術の向上と知識の習得を図るものです。

一チーム五人編成で、合計二十チームが参加しました。号砲を合図に競技を開始し、放水により標的を落下させた

時点で競技終了となります。

今年度は、新しく心肺蘇生法を訓練内容に取り入れるなど、日頃の練習成果を発揮する良い機会ということもあり、熱のこもった競技が展開されました。

結果は、次のとおりでした。

優勝 第五分団一班
準優勝 第二分団一班
第三位 第四分団三班

最後に、訓練の指導・助言・審査等を行っていただきました多度分署の方々に感謝申し上げます。



桑名方面団

新ガイドラインでより早く
救急救命

第二大隊 八月二十六日

救命の方法が変わったという
ことで、今年は普通救命講習を行いました。

災害が起きた時、また日常生活においても我々消防団の救命活動は大切な役目です。少しでも早く正確に適切な人命救助を行わなければなりません。救命指導員のもとで応急手当、心肺蘇生、AEDの使用方法など真剣に講習をうけました。

第三大隊 十一月二十五日

消防西分署において、第八分団桑名地区、第九分団在良地区、第十分団七和地区、第十二分団久米地区、第十四分団大山田地区の五個分団が合同訓練を行いました。

訓練内容は今回少し新しくなった心肺蘇生法を、消防本部防災指導課の指導の元、中久木桑名方面団長、松宮第三大隊副団長、同じく牧野副団長補佐、さらに西分署職員皆様に協力頂き、各分団の指導

員資格取得の団員さんと共に参加者全員が熱心に取り組んでいた。その後、西分署職員の指導により規律訓練を行い、第三大隊合同訓練を終了しました。



瑞宝章光章叙勲

元長島方面団長 日沖 茂行様が、平成二十四年秋の叙勲にて、長年の消防団員としての功績により、瑞宝章光章を受章されました。

自主防災訓練

長島北部地区自主防災訓練

十一月十一日

近年は、大規模な災害が多発し、多くの尊い命と財産を奪い、各地に甚大な被害をもたらしています。地震、津波、台風など自然災害は思わぬときにやってきます。

災害をなくすことはできませんが、被害を少しでも減らすことは今からでも取り組むことができます。

今回の長島北部地区自主防災訓練では「東海・東南海・南海地震」における初動時の行動や遠隔にある避難場所への移動の方法を訓練し、災害時における防災関係機関との相互の連携と地域住民の防災意識を高めることを目的としました。

訓練内容として、初期消火訓練では、実際に近い形での水消火器による初期消火訓練や「人が運ぶ命綱」バケツリレーを行い、防災資機材取扱訓練では「簡易トイレの組立」を中心に防

災備蓄品の展示や煙体験ハウスによる濃煙体験を行いました。



応急救護訓練においては、応急処置、搬送方法について身近にあるものを活用して行う方法を学びました。特に応急処置では、骨折時に三角巾の代わりにスーパの袋を代用したことや、傘を利用した固定方法などを学び、搬送訓練では毛布を利用して担架の代用とすることも学びました。

炊き出し訓練ではガス釜を使い、防災備蓄品である非常食を使用したおにぎりを長島北部婦人会の方たちが作る訓練を行いました。



最後に防災講演として三重大学自然災害対策室葛葉教授から「災害への備え」について講義が行われました。

最も避けるべきことは「知らない想定外」であり、リアルタイムな情報収集や童話にあるオオカミ少年効果と居住場所の選定が重要であることを知りました。

災害が発生したとき、あなたや家族を守ってくれるのは地域のみなさんです。

そして救助のための知識や訓練など、防災に対する地域の力を育んでいるのが『自主防災組織』であり、災害時には地域防災の『主体』となります。

消防学校入校

今回の訓練の経験を活かし、起こりうる災害に備え、我々消防団も一緒に頑張っていきたいと思っています。この様な訓練は、桑名市内各地区にて約三年おきに実施されています。

幹部科 十一月十日・十一日
長島方面団

第四分団 分団長

伊藤 真尉



第二分団 副分団長

二本柳 武



三重県消防学校で実施され

た消防団員幹部科教育は、三重県内の各消防団の幹部向けに実施されており、桑名市消防団から二名が入校しました。そこでは消防団幹部に必要な指揮・管理の方法を学習するため、以下の講義を受講しました。

①現場指揮・火災防衛

②安全管理

③現場活動指揮訓練

講義ではただ話を聞くのみではなく、火災現場のイラストや動画を使用し、状況判断や対策等を発言していく形式になっており、非常に有意義なものでした。指揮・管理に関する学習以外には、地震等の大規模災害に関する講義、火災現場を体験するため熱気体験を行える施設での訓練などを行いました。

また、他市町の消防団の活動内容の話を聞いたり、経験豊富な消防団員の方（自分の親と同じ世代の方も参加していました）と行動を共にすることでいろいろと見習ったりすることもできました。ここでの良い経験を今後の消防団活動に生かしていきたいと思っています。



身近なものでできる応急手当



自主防災訓練などで、AEDを使った救命法とともに、ケガの応急手当の指導も行っています。適切な応急手当をすることで、ケガ人の痛みをやわらげたり、傷の悪化を防ぐことができます。・・・でも、訓練で使う「三角巾」や「添え木」なんて、いざという時に身近にあるものではないですね？



何 が 使 え る の ？



傷の保護には？



腕などのケガの場合は、傷をきれいな水で洗ったあと、**タオルやハンカチ**で押さえて止血して、**ラップやタオル・手ぬぐい**等を包帯代わりにします。ラップなら結ばなくても固定できるので簡単ですね。



頭やヒザ・ヒジなどには、**ストッキング**が使えます。タオルやハンカチで傷口を保護した上にストッキングのお尻の部分をかぶせて、脚の部分を結んで固定します。結び目が傷口の上に来ないようにしましょう。

骨折の固定には？



腕の骨折の固定には**雑誌・新聞紙や木切れ**が使えます。折れた骨の上下の関節を固定するように添えて、**ハンカチやスカーフ、ネクタイ**などで結ぶか、**ガムテープ**で巻きます。



脚の骨折の固定には腕の時より長いものが必要ですから、**カサ・杖・野球のバット**などが利用できます。

腕を吊るには？



肩や腕を負傷した時に腕を吊るには**スーパーやコンビニのレジ袋**が使えます。袋の底の左右に穴を開けて腕を通し、持ち手の部分を切って、首にかけて後ろで結べば、三角巾の代用になります。

怪我人を運ぶには？



毛布で包んであげれば、引きずって一人で移動することもできますし、保温の効果もあります。



道具に頼らず工夫しましょう！



このように、身近に利用できるものはたくさんあります。「救急隊が来るまで」「病院へ行くまで」に私たちができることはたくさんあります。落ち着いて、その場で自分に何ができるか考えて行動しましょう。

女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。[桑名市女性消防団](#) 検索 ←クリック！

10月28日

県女性消防団員研修会



津で行われた「消防団・自主防災組織の理解促進シンポジウム」に参加しました。

12月14日

女性消防団員リーダー会議



東京の日本消防協会で開催された会議に、後藤分団長が三重県代表として参加しました。

1月16日

文化財防火デー消防訓練



六華苑で、26日の文化財防火デーに先立って実施された消防訓練で、消火器取り扱いの指導を行いました。

10月22日

益世小防災訓練



各地の防災訓練に参加しました。

11月16日 全国女性消防団員
活性化秋田大会



秋田での全国大会に参加しました。今年、津市消防団が、

ステージで火災予防啓発劇を発表。私達も展示コーナーの活動紹介が大変好評をいただきました。



12月28-30日
年末特別警戒



巡回広報先で市長と記念撮影



女性消防団

平成25年春



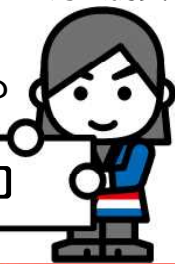
消防団は、本業を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活動する非常勤の地方公務員です。

入団資格

18歳以上で
桑名市に居住
または勤務し
ている方



私たちと一緒に
活動しませんか？
団員募集中



消防団の活動
はいろいろ。
あなたの参加
をお待ちして
ます。



現在、私達9名で活動しています。

お問い合わせ先 桑名市消防本部 総務課 TEL 24-5274

毎月十九日
火災予防
巡回広報
実施中

次回の女性消防団全国大会は、
十月、岐阜県高山市で開催されます。